

## 11. 消化管、肝胆膵の疾患

### 文献

Itoh K, Asai S, Ohyabu H, et al. Effects of trigger point acupuncture treatment on temporomandibular disorders: a preliminary randomized clinical trial. *Journal of Acupuncture and Meridian Studies* 2012; 5(2): 57-62. CENTRAL ID: CN-00831096, PMID: 22483183

#### 1. 目的

顎関節症に対するトリガーポイント鍼治療の有効性評価

#### 2. 研究デザイン

ランダム化比較試験 (RCT)

#### 3. セッティング

明治国際医療大学、京都、日本

#### 4. 参加者

6 カ月以上、顎機能障害を持つ学生 16 名 (男性 11 名、女性 5 名、平均年齢 21.5±1.7 歳)

#### 5. 介入

Arm 1: 鍼群 8 名 (平均年齢 21.6±2.0 歳)。被験者の都合により 1 名脱落。ステンレス製ディスプレイ鍼 (0.2×50mm) を、疼痛が誘発される顎運動から同定したトリガーポイントに刺入し、雀啄後 15 分間置鍼。

Arm 2: sham 群 8 名 (平均年齢 21.4±1.4 歳)。先端を切除し、鍼が体内に刺入されないように加工された自作製偽鍼を用いて、刺鍼し雀啄するふりをし、10 分後に鍼を抜くふりをした。

#### 6. 主なアウトカム評価項目

顎運動の際の痛みに対する Visual analogue scale (VAS)、最大開口距離(MMO)。

#### 7. 主な結果

VAS より、前後比較では鍼群で治療後 2-10 週目に (2 週目  $P<0.05$ 、3-10 週目  $P<0.01$ )、sham 群で 4-5 週目に ( $P<0.05$ ) 有意に改善した。群間比較では鍼群で sham 群と比較して有意に改善した ( $P<0.05$ )。MMO は前後比較、群間比較ともに変化がみられなかった。

#### 8. 結論

慢性肩痛に対するトリガーポイント鍼治療は有効である。

#### 9. 鍼灸医学的言及

顎関節症に伴う痛みに対して鍼治療は有効である。

#### 10. 論文中の安全性評価

記載なし。

#### 11. Abstractor のコメント

顎関節症に対する鍼の効果を明らかにしようとする、貴重な試みである。しかし、本エビデンスレポートでは対象外となった、同グループが他誌に公表した類似文献 (浅井. 全日鍼誌 2010) の被験者の背景因子と一部の結果が一致しているが、鍼径、置鍼時間などの研究デザインが異なっている。さらに、引用文献としても明示されていない。これらの疑問点が解消されれば、エビデンスとして認めることができる。

#### 12. Abstractor and date

保坂政嘉 2016.11.19